

# 5月「19の日」行動

ウクライナ侵略を利用した改憲策動を止めよ！  
市民と立憲野党は共同して憲法を守ろう！

岸田政権は維新や国民民主党とともに、憲法審査会を開催して憲法解釈を都合よく行い、改憲へ向けた道を作ろうとしています。さらにロシアがウクライナへ侵略した事を利用して、核兵器を使った威嚇の協力や所持について発言したり、さらに他国をいつでも攻撃できる自衛隊を作ろうとしています。被爆国日本が核武装や核兵器で他国への威嚇をするなど許される事ではありません。現行のNPT国際条約の中でも許されませんし、一旦核兵器を使用すれば双方の国民も国土も壊滅的な打撃をこうむることになります。



これまでも改憲勢力が国会の多数を握る事はありましたが、世論と市民の運動で、立憲野党とも共闘して政治の暴走を阻み、改憲を阻止してきました。今こそ、他国への武力攻撃を可能にするような憲法9条改憲を許さない、国民世論を高めることが改めて求められます。また、コロナの感染爆発による医療崩壊、自宅療養という名の治療や生活支援の放棄は、自公政権による「人災」です。公的機能の縮小や閉鎖が困難を拡大しています。このような時に莫大な軍事費を使った大軍拡など許される事ではありません。憲法にもとづく命と暮らしを第一にする政治への転換が今こそ必要です。「改憲に反対し、市民の命と生活を守るための憲法改悪に反対する全国署名」の取り組みを進め、多くの市民との対話を進めましょう。

とき **5月19日(木)**

午後6時30分～ 街頭演説

7時00分～ デモ出発(開催予定)

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 安保法制廃止をめざす市民アクション@京都